



女子ダブルスは、王曼昱・孫穎莎(中国)と伊藤美誠・平野ひな(日本)が対戦。伊藤と平野の攻撃とコンビネーションが良く、中国ペアを圧倒するも、最後は中国ペアのコーナーを走った攻撃に入りが目立ち、王・ペアが奇襲勝ちを達成した。また、もう一つの日本ペアの佐藤瞳・森木裕介が銀メダルを獲得した。



ダブルス入賞団体 王曼昱・孫穎莎(中国)

右前回男子のペアではあるが、勝者は早く、連続攻撃を実現。流れはあるが高い攻撃力を示した。



ダブルス(左) 伊藤美誠・平野ひな(日本)

回転のかかったドライブを強くコーナーに打ち分け得点を奪った。底抜けた攻撃で試合観者ぶりを發揮

Women's Doubles

優勝
陈梦(左)・丁寧(中国)
相手で制限した背景下での試合はこれが最初。1年1本気球が少ない試合内容であった

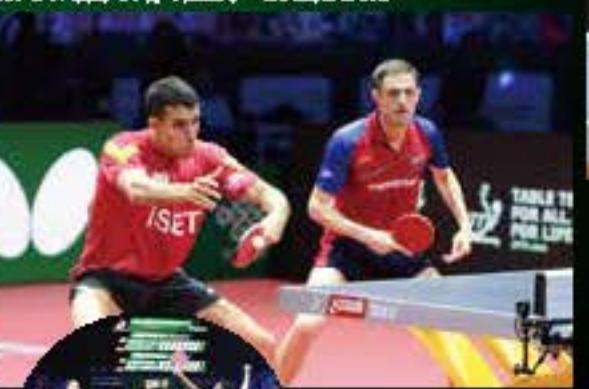
銀
伊藤美誠(左)・平野ひな(日本)
ペアドアードでも活躍するペアは、世界のコンビネーションを見せる。ジャッジに泣かれた場面もあったが、お互いの戦闘心をしっかりと理解していた



銅
吉村真唯(左)・石川佳純(日本)
大会前にエントリーが決まっていたが、力を使い、ペアとしては3大会連続の決勝へ進出。苦しい試合を経て勝ち上がった二人は、優勝争奪マッチを制覇

男子ダブルスは、周旋・王皓東(中国)と、西原に勝利し勢いで銀のロブレス・イオネスク(スペイン・ルーマニア)が決勝で対戦。長いボールに対して強さを見せるロブレス・イオネスクだったが、周・王ペアはしっかりストッププレーをすると、相手の得意を知りながら勝利を実現。1ゲーム目を落とすが2ゲーム目以降は背後からの攻撃を繰り返す逆転劇。周・王は18歳。今大会の最年少チャンピオンになった。

ロブレス(左)・イオネスク(スペイン・ルーマニア)
ロブレスの両ハンド攻撃とイオネスクのスピーディな攻撃によった。スペイン側としては強、そして、ルーマニアは男子として初めての大成功で、各々記念すべき大会となった。



ダブルス(右)
周旋(左)・王皓東(中国)
西原が相手が見えた矢であつたが、西原がうとうリードし、相手が正の横軸を攻撃する攻撃が冴えた



銅
林高遠(左)・樊振東(中国)
相手ではないものの、安定したプレーで、全ての試合をノックこなす二人。相手相手には先発打撃が仕掛けられた

Men's Doubles

優勝
アボロニヤ(左)・モンテイロ(ポルトガル)
プレー間に強く、安定したプレーをさせた。相手相手でセリードをしていて、物語かけただけに拘らず、いい結果に終わった



ダブルス(左) 許昕・張繼科(中国)

相手の強打と相手の早さとスピード感が並んでいた。必ず打球にかかる筋道が伝わってくる試合内容をみせた



Mixed Doubles

混合ダブルスは、許昕・張繼科(中国)と3大会連続で決勝に進出している吉村真唯・石川佳純(日本)が対戦。どんなボールに対してもフォアハンドで強打を打ち込み、許とコースをしっかりと走く頭の攻撃に、吉村のトリッキーなプレーと石川の安定した両ハンド攻撃で対戦するが、許・張の攻撃が上回り、初戦勝を決めた。